

第5回(仮称)古河市新公会堂基本構想・基本計画市民委員会 会議録

日時	令和6年5月23日(木) 14:00～16:00
場所	古河市役所 総和庁舎 特別会議室
出席委員	小林委員(委員長)、中野委員(副委員長)、渡辺委員、野村委員、峰委員、関根委員、楠田委員、今井委員、塚田委員、佐藤委員、稲葉委員、宮本委員、岡安委員、小川委員、蘇武委員、柿沼委員、千野委員
欠席委員	蓮見委員、初見委員
傍聴者	6名
事務局	企画政策部 綾部部長 プロジェクト推進課 細見課長、海老原係長、小木主査
受託者	シアターワークショップ・日本工営都市空間設計共同体 株式会社シアターワークショップ(TWS) 小池、山本、川本(Web) 日本工営都市空間株式会社(NKU) 福林(Web)、矢野(Web)、今吉(記)、佐藤(Web)、若梅(Web)、片山(Web)
内容	<p>1 開会</p> <p>2 委員長あいさつ</p> <p>3 委員紹介</p> <p>4 議題(1)建設候補地に関する経過報告について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料1 建設候補地に関する経過報告 <p>(2)ワークショップニュースレターについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料2 第2回市民ワークショップニュースレター ・資料3 第3回市民ワークショップニュースレター ・資料6 第2回中高生ワークショップニュースレター <p>(3)施設機能の詳細検討・施設規模の検討について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料4 施設機能の詳細検討・施設規模の検討 <p>(4)基本構想・基本計画における管理運営計画の位置付けについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料5 基本構想・基本計画における管理運営計画の位置づけ ・資料7 古河市文化芸術振興基本計画(概要版) <p>5 その他</p> <p>6 閉会</p>
小林委員長	<p>【(仮称)古河市新公会堂基本構想・基本計画市民委員会】</p> <p>(委員長あいさつ)</p> <p>2月の実施から少し時間が空きました。前回の意見も思い出していただきながら、活発な意見交換が出来ればと思います。よろしくお願いいたします。</p>

<p>事務局</p> <p>小川委員</p> <p>事務局</p>	<p>(委員紹介)</p> <p>今年度、古河市行政自治会の会長が変更となりましたので、紹介させていただきます。小川久雄委員でございます。</p> <p>前回の公会堂建設計画の時、大賛成でしたが、実現せず残念でした。今回はぜひ実現できるようにしたいです。よろしく願いいたします。</p> <p>次に、今年度、人事異動に伴って配属となった職員の紹介をさせていただきます。企画政策部長の綾部でございます。続いて、プロジェクト推進課 主査の小木でございます。紹介は以上となります。</p>
<p>事務局</p> <p>小林委員長</p> <p>渡辺委員</p>	<p>《議事》</p> <p>(1) 建設候補地に関する経過報告について</p> <p>(2) ワークショップニュースレターについて</p> <p>(1) 建設候補地に関する経過報告について、資料に基づき説明。経過は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(仮称)古河市新公会堂の建設候補地は、当初3箇所について検討を開始したが、第3回市民委員会にて、「旧古河体育館跡地」「大堤地内」の2箇所に絞って検討することに決定した。 ・資料1に示す土地について、公有地の拡大の推進に関する法律に基づき、土地買収希望申出書が2月28日に古河市に提出され、事務局では建設候補地としてのポテンシャルが高いことから、十分に検討する必要があると判断し、買収に向けた協議を行うことを決定したが、3月19日に申出者と協議を行った結果、不調となった。 ・要因は、買収提示額が、古河市が近傍価格や固定資産評価額から試算した価格と大きく開きがあり、高額であること。さらに、地中約50mまでの基礎杭約80本が埋設された状態での売買であり、処分費に多額の費用を要すること。費用負担等について交渉を行ったが、条件の折り合いが付かなかった。 <p>(2) ワークショップニュースレターについて資料に基づき説明。</p> <p>事務局からの報告事項について、ご意見・ご質問等ありますでしょうか。まず私からワークショップについて、感想をお伝えさせていただきます。ワークショップを通じて、公会堂をこれからメインに使っていく世代である中高生の意見を集められたことがよいと思いました。どこの自治体でも、中高生の放課後の居場所づくりが課題になっています。中高生ワークショップの意見でも、そのような現状が感じられました。単にイベントを行うだけのホールを建設するのではなく、このような課題への対応も考えていく必要があると思いました。</p> <p>ワークショップを通じて多くの意見が出て嬉しいと思いました。第九をやりたいという意見が出ていたので、演者として気合が入ります。</p> <p>また、若い世代が使いやすいホールを考えることが大事だと思います。舞台技術者は専</p>

	<p>門的な知識が必要ですが、若い世代が運営側の技術者やスタッフを経験できれば、技術向上につながります。文化座、俳優座、わらび座などの劇団を呼んで、文化に触れる機会も作れば良いと思いました。</p> <p>さらに、中高生が施設を訪れるための交通機関（ぐるりん号など）を確保することも進めてほしいと思います。放課後に家で暇をつぶす子などにホールに来てもらいたいです。</p>
TWS	<p>(3) 施設機能の詳細検討・施設規模の検討について</p> <p>大ホール部門について資料に基づき説明。以下、事務局提案内容。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大ホールの客席数は、1,300 席程度とする ・少人数での大ホール利用もできるよう、1 階席以外を隠せるような設備を設ける ・大ホールの客席の層数は 2 層バルコニー形式とする ・大ホールにはロールバックチェアを設けず、平土間の演目は小ホール/リハーサル室を利用する ・主舞台の規模は 10 間四方 (18m×18m)、もしくは 10 間×8 間(18m×15m)程度とする ・プロセニウム高さは、10-12m 程度とする ・オーケストラピットは設置しない
事務局	<p>大ホールの検討内容について補足いたします。</p> <p>(仮称) 古河市新公会堂基本調査報告書【資料編】の 46 ページにある、市民アンケート Q13 ホールの収容人数に関する質問の回答をご覧ください。1,000 席程度が最も多く 25.3%であり、半数以上が 1,300 席以上を望んでいる結果でした。また、市内の学校の 1 学年 1,000 人程度が一同に介せること、さらに成人式等の行事を想定しご父兄の人数を加算した程度の大きさが必要と考えています。プロモーターのヒアリングにおいて、古河市で 2,000 席規模の事業を成立させることが難しいというご意見もいただいた一方で、1,200~1,500 の共催事業であれば可能性があるということでした。以上のことから、客席は 1,300 席で、イベントによってより小規模演目にも対応できる工夫も検討しています。</p> <p>まず初めに客席について、次にその他の内容について協議させていただきたいです。</p>
小林委員長 楠田委員 小林委員長	<p>【大ホールの客席数について】</p> <p>まずは客席数について、委員の皆様より、ご意見・ご質問等ありますでしょうか。</p> <p>客席数は 1,300 席程度が最大、1,000 席~1,300 席と思っていました。大きすぎると、維持費と折り合いがつかないという話も他の施設の市の職員からも聞きます。</p> <p>個人的にはこの規模に賛成です。もちろん 2,000 席作りたいたいという話も聞きますが、興行として成り立たせることも難しいですし、市民が開催するイベントでは大人数を集められないこともあり規模が合わないと思客席が埋まらず寂しいと思います。いかがでしょうか。</p>

(委員より意見無し)

【客席の層数について】

事務局

次に、客席の形状の検討内容について補足いたします。建物の高さを抑えられることや、演者の距離が見やすい、バリアフリーの観点からも移動がしやすいという点で2層バルコニー形式を提案しております。

中野委員

バリアフリーが重要と思いましたが、提案内容でよいと思えました。

渡辺委員

結城市民文化センター（アクロス）は客席数1,300席で、1スロープの形式ですが、後ろ客席は少し遠い印象があります。規模が少し小さいですが足利市民プラザは2層バルコニー形式で、よく声が届くと感じています。3層バルコニー形式だと、3階席から舞台を見下ろす位置が高いと思います。2階バルコニー形式で、場合によって2階席は幕を閉じるなどの工夫ができるのは、演じる側としてもよいと思えました。

千野委員

資料4の8スライド目にある長野市芸術館の1階席（916席）と2階席（376席）の構成は、一般的な2層の客席の構成と考えるとよろしいでしょうか。

TWS

おおよそ一般的な構成と思います。

千野委員

1階席が900席～1,000席というのがふさわしいと思っていたので、2層バルコニー形式に賛成です。

小林委員長

敢えて発言すると、私は3層や4層バルコニー形式のホールも好きです。理由は、演劇を観に行くときどの席でも声が近くに感じられるからです。ただし、手すりがあったとしても3層や4層部の客席は段差が高く、怖いと感じます。気持ちのバリアフリーという面でも2層バルコニー形式はよいと思えました。

稲葉委員

大ホール1,300席程度とした場合、候補地のどちらでも敷地内に収まることは前提となりますか。場所が限定されることはありませんか。

事務局

候補地の大きさに関係なく、施設機能をまずは考えていただきたいと思っておりますが、例えば候補地1で客席数1,300席とすると、2層バルコニー形式を取り入れることが難しいなどの可能性はあります。

小林委員長

場所が限定されるということはないと思います。1,300席を収めた上で、どのような設えとするかを検討していく流れです。また、今回話し合っている施設機能の構成は、(仮称)古河市新公会堂の機能の決定事項ではなく、検討の方向性を決めている、ということでご理解いただきたいです。

【ロールバックチェアについて】

小林委員長

前回は委員の皆さんからロールバックチェアについての意見が多く出たと思っておりますので、意見を伺っていききたいと思います。

事務局

大ホールのロールバックチェアの検討は、小ホールとの兼ね合いもございまして、小ホールの議題に合わせて協議させていただきたいです。

小林委員長

わかりました。

【舞台規模について】

事務局

舞台規模の検討内容について、想定している舞台サイズは結城市民文化センター（アクロス）と同程度と思っています。

楠田委員

舞台の大きさはよいと思います。それに加えて舞台から見えない袖の広さもスペースを確保していただかないと、使いにくいホールになってしまうこともあります。舞台の両側に間口とほぼ同等の広さの袖を確保できるとよいと思います。

小林委員長

舞台袖は重要ですよ。裏動線がうまく取れなければ何もできません。見えているところだけが舞台ではないので、袖のスペースを確保することは基本だと思います。そのほかいかがでしょうか。

千野委員

市内には古く使い勝手が悪い施設もあるので、新公会堂では使いやすいスペースをしっかりと確保してほしいと思います。

小林委員長

昔のホールは特に講演会程度の想定で舞台袖が確保されておらず、パフォーミングアーツには向いていません。最近のホールは当たり前前に計画されると思いますので、新公会堂でもしっかりと確保していただければと思います。

【オーケストラピットについて】

事務局

オーケストラピットについて、市民アンケートやワークショップで要望をたくさんいただき、市民委員会でも特徴あるホールとするためにと意見を挙げていただきました。しかし、イニシャルコスト、ランニングコストの点から、設置しない提案としています。

渡辺委員

私はミュージカルもやるので、あった方がいいなと思っています。しかし、結城市民文化センター（アクロス）にある全て手動のオーケストラピットを使ったことがありますが、セッティングは大変でした。一方で全部電動とするとコストがかかるため、使用頻度を踏まえると、設置が難しいことは仕方がないかなと思います。客席の最前列から2、3列を低くして下がったレベルにオーケストラが集まることのできるような、オーケストラピットとしても使える段差スペースは確保できた方がいいと思います。

小林委員長

ご経験の中の意見だと思います。伴奏は録音の技術も進歩していますが、やはり生音がよいということはありません。ただ、舞台の下ではなく舞台の上で一緒に演奏するというタイプなど、様々な方法があります。オーケストラピットを設置すると、かなりの頻度で使われないとコスト面でまかなえない印象です。オペラ劇場やミュージカル劇場を目指すということでなければ、多くの施設はオーケストラピットを設置せずに舞台の上などで演奏されることが多いと思います。

楠田委員

近隣にはオーケストラピットを設置している施設もありませんので、新公会堂の特色になればと思い、市民委員会の中で提案させていただきました。近年、オーケストラピットを知らない人があまりにも多い状況であると感じています。設置されている施設が少なく、クラシックの生音を聴かせる場所がどうしても限られてしまっていますので、設置されれば積極的にそのような演目を実施できればと思っていました。コストがかかるのは重々承知していますが、願わくは設置いただきたいと思い意見をさせていただきました。

小林委員長	大勢の人が息を凝らして演目を作る生音の演奏は本当に体感が異なります。心が動く気持ちもあります。資料4の6ページの12スライド目の右側の手動方式は、床を落とすのみでしょうか。
TWS	12スライド目の左側の電動方式は、ピットが昇降する機構と座席をスライドする機構の2つが備えられています。右側の手動方式は、床が落ちていて、前から5列程度の客席を手作業で着脱を行うものです。
楠田委員	舞台からレベルを下げるイメージがありますが、舞台範囲を拡張するパターンもあります。大きな舞台面ということであれば、100人規模の吹奏楽などの他の使い方もできるため、検討いただきたいです。
小林委員長	吹奏楽以外にも、大編成のオーケストラでも舞台に乗り切らないこともあるため、最大限の場合を考えていく可能性はあるかもしれませんね。
野村委員	電動の場合はコストがかかる印象がありますが、手動の場合のコストはどうなりますでしょうか。
TWS	具体的な費用は確認します。電動の場合は、セッティングは容易ですが、機構のメンテナンス費用が必要です。手動の場合は、セッティングのために舞台技術者を呼んで作業いただくための人件費が必要です。
野村委員	ありがとうございます。利用する1回ごとの費用負担は誰になるか検討すればよいと思いました。手動のオーケストラピットを設置してもよいかなと思いました。
宮本委員	利用する団体のチケット代に含めてしまうこともあると思います。使う機会は多くありませんので、手動でもよいので、新公会堂の特色として導入を検討してほしいです。
小林委員長	オーケストラピットについては、再度事務局にて検討していただければと思います。コスト面も少し具体的に検討するとよいと思います。
	【小ホールについて】
TWS	小ホールについて、資料に基づき説明。以下事務局提案内容。 <ul style="list-style-type: none"> ・リハーサル室機能を兼ね備えた、多機能型(ロールバックチェア)の小ホールを設ける ・大ホールの舞台と同じ階に設置し、リハーサル利用の利便性に配慮する
事務局	小ホールの検討内容について、補足いたします。小ホール規模の施設は市内にも複数ありますが、各種アンケート等の結果から、今まで以上に使いやすい動線や高い音響機能を備えたホールが求められています。また、吹奏楽の関係者から大ホールのリハーサル機能の要望がありました。これらの意見と施設の整備面積も踏まえて、小ホールと兼用のリハーサル室を設けることとしました。現状想定している小ホールの平土間部分の広さは、総和地域にある中央公民館程度です。 ロールバックチェアを取り入れた場合の使い方について、補足いたします。ホール内は、音響に配慮した壁材などを使用しているため、平土間になった場合でも球技はできません。また、スポーツ対応の床や壁の仕様は、高い音響性能を備えるものとは異なる場合があります。検討が必要です。

もし大ホールで平土間空間を設ける場合の広さは 930 m²で小ホールの 3 倍程度になり、スポーツ等の利用が難しい場合、活用方法が限られてしまう懸念があります。これまでのヒアリングから、小ホールの規模で、ある程度ニーズは満たされるのではないかと考えています。小ホールで多機能なものを取り入れることで、大ホールは用途を限定し、観客席の椅子の質をよくすることもできると考えています。

小林委員長

ホールの中で、小ホールの利用頻度が一番高くなる傾向があります。特に若いアーティスト等が好んで使うこともあります。多様な活動のために利用できると思います。

千野委員

小ホールが小さすぎると感じています。以前古河市内にあったパーティ会場のカナルハウスはテーブルで 300 席程度、立食パーティで 800 人程度の規模でした。企業が大ホールで式典を行ったあとの会食スペースを想定すると、現状はかなり小さく入りきらないため、市外で別の会場を利用されてしまうのではないのでしょうか。

小ホールのサイズが変えられないのであれば、大ホールはロールバック形式の座席にした方が良いのではないかと思います。また、市内にあるホールと同等のサイズを作るのはよくないと思いました。

野村委員

市内のパーティ会場として利用していたカナルハウスがなくなり、困っています。商工会関係で 300 人規模の会食パーティをしたいと思っています。大ホールで飲食可能にする一方で、小ホールは音響性能等を充実させて、差別化を図ることがよいと思いました。

柿沼委員

つい先日三和地域交流センターを使いました。ロールバックチェアの椅子で、1 人が演奏中に移動すると、全部が揺れているのがわかってしまいます。これから整備するので今よりもよい椅子になるとは思いますが、一番は差別化、せっかくだから古河を使おうと思ってもらうようなものが大事だと思います。一番稼働率の高い小ホールのグレードを高くして人を集め、大ホールにはお金がかかるかもしれませんがロールバックチェアとして、災害時に安全な場所として人を集められるなども市民の同意を得るためにも大事な視点と思いました。

佐藤委員

実際に施設を見てみなければ、大きさのイメージは想像がつきにくいと思います。市民アンケートで、収容人数 1,500 席以上の回答は 40%程度あります。実際の大きさを見た方がよいと思います。

事務局

ご提案を受けまして事務局でも検討しました。やはり皆様に実際の建物を見ていただいたほうがよいだろうということで、次回の委員会等では、現地視察をできるよう企画中です。

小林委員長

大ホールにロールバックチェアを導入した実績のある施設はありますか。音響性能は変わっていくと思いますが。

TWS

由利本荘市文化交流館カダーレは、約 1,100 席の大ホールを平土間化でき、パーティ等で利用されています。

楠田委員

大ホールでロールバックチェアを整備すると、ホールではなく、アリーナのイメージになり、県立宇都宮産業展示館（マロニエプラザ）のようなものではないでしょうか。例えば飲食可能にした場合は、床は木にできないなど、制限がでてきてしまうと思います。

渡辺委員 宮本委員	平土間とホールがある施設でいうと、幸手市民文化体育館がありますね。 パーティなどはいつでもあるわけではありませので、どうでしょうか。1,300席の文化芸術のためのホールを作るのがいいかと思いました。
関根委員 中野委員	小ホールを多目的に区分できるというものを作ってもいいのではないかと思いました。 大ホールはあくまでも文化芸能鑑賞を兼ね備えたホールがよいと思います。飲食を伴うものは別な視点になってしまうので、あくまでもリハーサル室の機能の中のひとつとして飲食を捉えた方がよいと思いました。
小林委員長	コンベンションセンターのような施設であれば別に設けることはあると思いますが、大ホールに必要なのか、別途作るのかも検討できると思います。
小川委員	大ホールでせつかく文化的なホールにしよう、と思っていたのに、飲食となると変わっていくと思います。皆さんどう考えていらっしゃるでしょうか。
千野委員	文化芸術の定義に寄ると思います。ジャズコンサートは文化芸術だと思いますが、飲食もあります。そこまで対応するのかどうか。新公会堂の名称のイメージとして、音楽堂ではないと思っていますので、様々な目的に対応できることを考えると、飲食のことも検討に含める必要があると感じています。
岡安委員	これまでと同じ議論が繰り返されているように感じます。事務局が作った原案の機能で、図面等を示していただきたいです。皆さん想像がつかないと思います。また、駐車場も何台くらい確保できるのか検討していただきたいです。
小林委員長	図面を描くために機能を検討していただいていると思います。皆さんが必ず必要だと思っているポイントを教えていただきたいです。駐車場も必要な機能に合わせて必要な台数を検討していくと思います。今日の会議で、大ホールでイベントを実施したいけれども、それだけではなくてパーティをする場所も必要だ、ということがわかったということが大事だと思います。それを全て大ホールに入れるかどうかは別の議題ですね。事務局にて、引き続き検討をよろしく願いいたします。
今井委員	皆さんの原点に戻っていただきたいと思います。施設見学もよいと思いますが、その施設が古河市にそのまま建設されるわけではありません。コンベンション機能も大切ですが、この委員会を立ち上げた理由は、自分たちの発表の場がない、ということだと思っています。その理由に基づくと、飲食は数として揃える必要はないので、事務局提案をなるべく受けて、計画を前に進めることが大事なのではないでしょうか。
小林委員長	あくまで事務局からの提案ですので、全て受け止める必要はなく、議論によって皆さんの大事なポイントがわかったので、前に進んでいると思います。提案いただいた内容に対して、意見を言ってください。 時間も少なくなってきましたので、次はまとめて進めます。
TWS	【創造支援部門・共用部門、配置計画の検討】 創造支援部門・共用部門、配置計画について資料に基づき説明。以下事務局提案内容。 ・練習室は市内既存文化施設との機能分担を鑑み、高機能なスタジオを4室程度設ける

	<ul style="list-style-type: none"> ・情報スペース・学習スペース・展示スペース・アーカイブ等の機能を有する共用ロビーを設ける ・共用部門には飲食機能、託児コーナーを設ける
小林委員長 佐藤委員	<p>創造支援部門・共用部門について意見はございますか。</p> <p>事務局に対して意見が出るのが当たり前だと思います。(仮称)古河市新公会堂基本調査報告書【資料編】によれば、求めるホールの演目は多目的ホールが65%、専門ホールが28%です。前回のように反対意見が出て頓挫してはいけないと思うので、色々な意見を言うことが大事だと思います。</p>
小林委員長	<p>どうしたらいいホールになるか、皆さんの意見をたくさん出してもらって意見を聞きたいと思います。どうしたら皆さんの意見を融合できるか、考えていく必要はありますが、意見は出してもらわなくてははいけないと思います。例えば大ホールとは別にして、コンベンション機能、飲食機能をととても大きくする、などのアイデアもあると思います。大ホールの中で多様化すると逆に用途が限定されると思います。逆に分けて考えるなど、皆さんの意見を整理して進めていきたいです。</p>
今井委員	<p>意見を言うことを否定してはいません。目的のものは何か、をしっかりと考えていきたいです。目的から逸れると、計画が膨らんでいくばかりになってしまいます。大ホールは音響か、飲食かというのはかなり違いがあるため、検討が必要です。</p>
小林委員長	<p>文化センターというものは文化だけではありませんので、色々なことが考えられると思います。市民の文化的なニーズが複合化していることを考えていく必要はあります。これから考えていく課題が出たということで事務局に検討いただきたいです。</p>
TWS 小林委員長	<p>(4)基本構想・基本計画における管理運営計画の位置付けについて 資料に基づき説明</p> <p>施設を作っておしまいではありません。どのようにお金を使っていくかが重要です。どうすれば一緒にできるか、考えていきたいです。近年の施設は目的も複合化していますので、音楽ホールだから公会堂だからということではなくで、どうすればできるのか一緒に考えていきたいと思います。時間がありませんので次回以降に意見をいただきたいと思います。事務局に議事をお返しいたします。</p>
事務局	<p>(その他)</p> <p>事務局から連絡があります。施設視察を予定しています。今日協議した内容のイメージが湧く施設、もしくは課題の解決になるような施設の視察を予定したいと思います。本日はありがとうございました。</p>
	以上